

## 看護単位の紹介

### 7 西階病棟(整形外科・形成・脳神経内科・リハビリ科)

骨折・腰椎椎間板ヘルニア・変形性股関節症が約4割、脊椎疾患・骨折・形成外科手術が必要な皮膚疾患など手術目的で入院される方が7～8割。脳神経内科は脳梗塞の患者さんが多く、看護は安全・安楽な入院生活の援助、日常生活を通したリハビリが主体です。

### 6 西階病棟(総合内科・消化器内科・血液内科)

消化器内科、血液内科等幅広い内科的疾患の患者さんが療養されています。緊急入院される患者さんや内視鏡、血液閉塞による治療、化学療法等を受ける方が多く、安全に治療ができ、病状変化には迅速な対応を行っています。また症状のつらさが軽減できるよう、症状緩和にも力を入れています。患者さん・ご家族の思いに寄り添い、心のケアができるよう看護を提供しています。

### 5 西階病棟(眼科・脳外科・糖尿病内科)

脳外科は脳梗塞・脳内出血・脳腫瘍などほとんどが緊急入院です。眼科の90%は白内障手術。硝子体手術も実施しています。糖尿病では自宅での生活管理ができるよう糖尿病指導士が中心となり、チームでサポートしています。

### 4 西階病棟(頭頸科・泌尿器科・皮膚科・歯科)

頭頸科・泌尿器科では手術・放射線療法・化学療法が行われています。「のど」の疾患は「食」「会話」「呼吸」と身体機能、社会生活に大きく影響します。また、泌尿器科も身体的・精神的に苦痛を残す疾患も多く、看護ケアにおいても十分に行えるよう医師・看護師が連携し、患者さんの「元気」が1日も早く回復するように看護を行っています。

### 3 階病棟

ICUと救急病棟の2看護単位があります。ICUでは、大手術といわれている心臓血管外科や呼吸器外科、外科の手術後の患者さんや重症心不全など重症患者さんを受け入れています。救急病棟では、救急外来受診後の緊急入院患者を受け入れています。患者さんの容態の変化を注意深く観察し、回復のための援助を行っています。また患者さん・家族の気持ちを受け止めて、一緒に今後の療養について考えています。

### 8 階病棟(緩和ケア病棟)

がんの終末期患者さんを受け入れています。がんによる身体のつらさを和らげる医療の提供と患者さんの「その人らしさ」を大切にしたいケアを提供させていただきます。

### 6 東階病棟(消化器外科)

消化器(食道・胃・肝臓・胆嚢・大腸など)疾患の手術や化学療法、放射線療法を受ける方を多く受け入れています。快適な療養生活を送っていただけるよう、患者さんと家族の気持ちに寄り添い、安全・安楽な医療・看護を目指しています。

### 5 東階病棟(呼吸器科・循環器科・心臓血管外科)

呼吸器科では肺がんや慢性呼吸器疾患の治療が行われています。循環器科では心臓カテーテルを中心とした虚血性心疾患の検査と治療、心臓血管外科は狭心症や弁膜症、胸・腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤の手術が主です。優しく、時に厳しく、笑顔を忘れず、患者さんとスタッフが一体となっています。

### 4 東階病棟(産婦人科・小児科・乳腺外科)

産婦人科・小児科・乳腺外科の混合病棟で、女性を対象とした幅広いライフサイクルをサポートしています。産婦人科・乳腺外科の主な治療は、手術や化学療法、放射線療法であり、患者さん一人ひとりに合わせた看護を心がけています。小児科では患児・ご家族が安心して入院生活を送れるよう努めています。看護スタッフの多くを助産師が占めており、妊娠から出産まで、お母さんと赤ちゃんを中心とした家族全体を支援しています。

### 手術室

14科、年間手術件数は800件。患者さんの身体的・心理的・社会的背景を考え術前訪問を行い術中の看護計画を立てています。医師・麻酔科医師・ME・看護師それぞれが連携を取り合い麻酔がかかっている患者さんを尊重し、円滑に手術が進むよう取り組んでいます。若さと元気あふれるスタッフで運営士、専門知識・技術の向上のため勉強会、院外研修へも活発に参加しています。